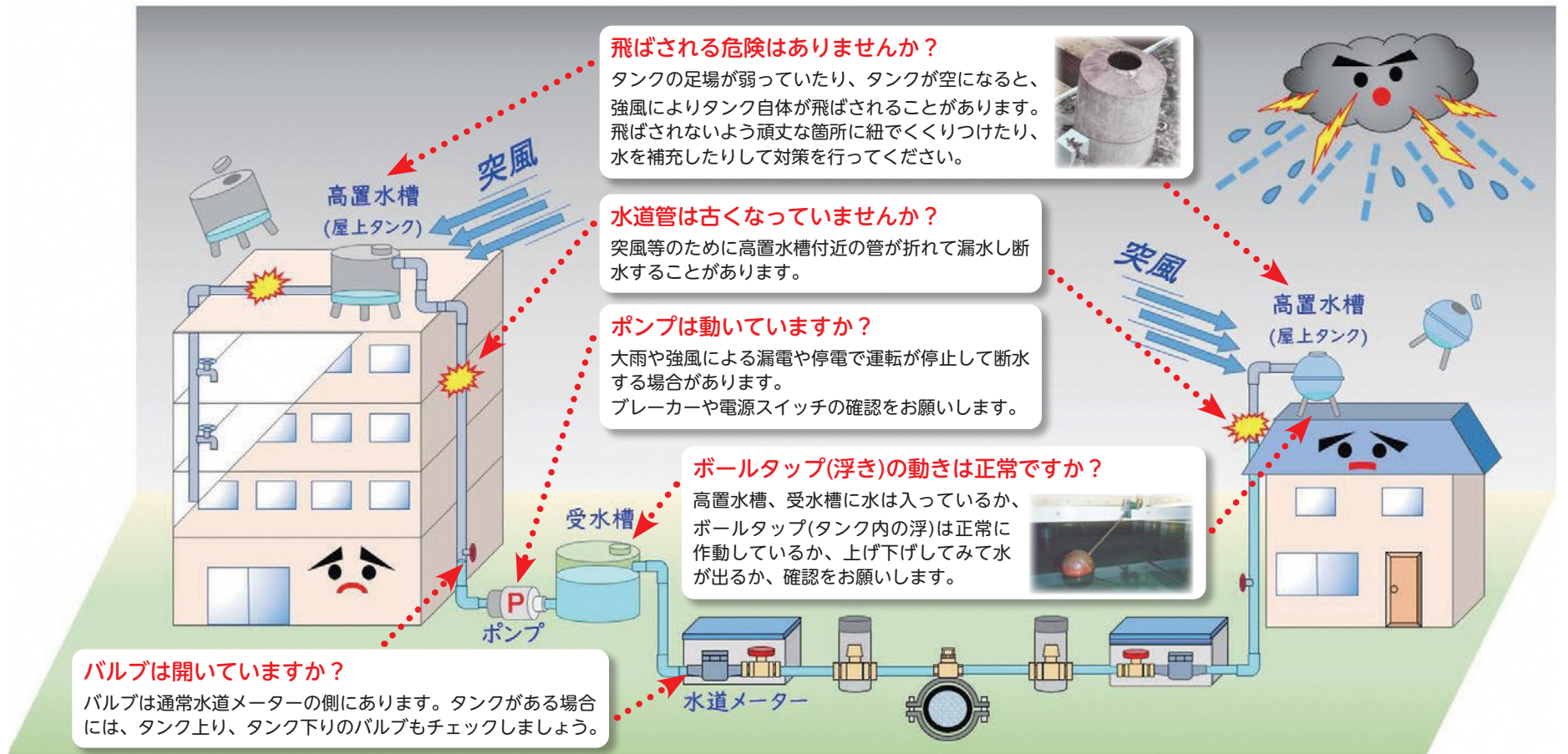


台風時における断水の原因と対策



台風時に受水槽やポンプを使用しているご家庭から、「水が出ない！」とのお問い合わせがあります。その多くは、以下の原因が考えられます。

- ① 高置水槽の破損
- ② 高置水槽付近の水道管の折損
- ③ 停電等によるポンプの運転停止(集合住宅の断水原因の大部分を占めています。)

停電した場合、電気が復旧してもポンプの電源がOFFになってしまうことがあります。その時は電源をONにする必要があります。暴風雨時の屋外作業はとても危険です。安全が確保できた後に電源の確認をするようにお願いします。

以上のことから、日ごろの整備、点検が大切です。

宅地内の水道施設が原因となる漏水、断水については、持ち主さまで対応して頂くことになりますので、**管理会社・家主へ連絡**をお願いします。

また、県営住宅にお住まいの方は**沖縄県住宅供給公社**(TEL：917-2438)へ、那覇市営住宅にお住まいの方は**市営住宅課**(TEL：951-3242)へ連絡をお願いします。

水道管やポンプの修繕が必要な場合は、ポンプ会社や那覇市指定給水装置工事事業者等へ連絡をお願いします。

指定工事店一覧は上下水道局ホームページに掲載しています。詳しくはこちらをご覧ください。➡

【お問い合わせ】 配水課 TEL：941-7806 FAX：941-7826
水道管理課 TEL：941-7805 FAX：941-7825



災害時における水の備蓄

飲み水の備蓄(3日分目安)

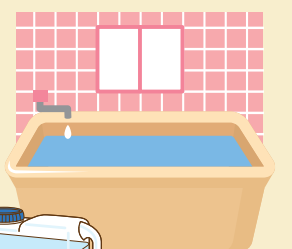
1人1日3ℓの飲み水が必要だと言われています。
1人あたり、3ℓ×3日分=9ℓの備蓄をお勧めします。



- Point** 清潔でふたができる容器に、口元まで水を入れ、満水の状態で備蓄してください。
- Point** 蛇口から直接容器に入れてください。浄水器を通した水や沸騰した水は消毒用塩素が少なくなり備蓄には向きません。
- Point** 塩素の消毒効果は、周りの環境にも影響を受けるため一概には言えませんが、一般的に直射日光を避けて常温で保存すれば3日程度、冷蔵庫で保存すれば10日程度持続すると言われています。それを目安に定期的に水の入れ替えをお願いします。

生活用水の備蓄

お風呂やポリタンクに水を貯めておくとトイレに使用するなど緊急時に役立ちます。



その他

ペットボトルの水を冷凍すると、保冷剤の代わりにもなります。

- Point** 水が膨張してペットボトルが破裂しないよう、水の入れすぎには注意してください。



【お問い合わせ】 総務課 TEL：941-7801 FAX：941-7821



上下水道 災害につよい まちづくり

